

アスモグループ新聞

アスモグループ新聞はアスモグループのホームページ asumo-kaigo.jp からご覧になれます。

【中野区 介護 アスモ】で検索してください。

※「アスモ・たんぼぼ新聞」は令和7年4月より「アスモグループ新聞」に名称を変更いたしました。

令和7年9月 第240号

「世界でいちばん大切な思い」



代表取締役 花堂浩一

いつもアスモ新聞をご覧いただきありがとうございます。年に数回、女房と一緒に、両親が入居している三重の施設に車を走らせ、日帰りで面会に行っています。それは、私が介護事業を営んでいるにも関わらず、両親の近くでお世話ができないという申し訳なさ、以前アスモ新聞でご紹介させていただいたこのお話の影響が大きいと思います。素敵なお話ですので、再度ご紹介させていただきます。

世界でいちばん大切な思い

一人の紳士が花屋の前に車を止めました。もう何年も会っていない故郷の母親の誕生日に、花束を贈ろうとしたのです。すると、女の子が道ばたに座り込んでしくしく泣いていました。紳士は、女の子に聞きました。「こんなところでどうしたの?」・・・女の子はベソをかきながら答えました。

「お母さんにね、バラの花をあげたいの。でもお金がなくて・・・」

かわいそうに思った紳士は、母親へ大きな花束を届けてもらうように注文した後、バラの花を一輪プレゼントしました。「はい、お嬢ちゃん。もう泣くのは止めなさいね」女の子の顔に笑顔が広がりました。・・・「ありがとう」・・・「どういたしまして」

店を出た紳士が車を出そうとすると、女の子が紳士のことを見ていました。紳士は車の窓から顔を出して言いました。・・・「早くお家にお帰りなさい。暗くなるからお母さんが心配するよ」・・・「わたし、行くところがあるの。お母さんのところ」

女の子が指さした向こうには共同墓地がありました。女の子は紳士に手を振ると墓地に向かってかけていきました。まだ新しいお墓の前で立ち止まり、一輪のバラの



花を大切にそっと置きました。そのお墓は、1ヶ月前に亡くなった女の子の母親のお墓だったのです。紳士は女の子を優しく見送った後、また花屋に戻りました。

「さっき送ってもらうように頼んだ花束をキャンセルしてくれ」紳士はバラの花を一輪買い、5時間かかる母親の家までまっすぐ車を走らせたのでした。

—このお話は

「世界でいちばん大切な思い」という本に収められている実話です。サブタイトルには「こころが温まる童話のような本当の物語」とあります。私たちは便利な社会に生き、電話やメールで用件を済ませることが出来ます。しかし、本当に大切な思いは、形にして届けなければ伝わらないのかもしれない。この物語は「直接伝えることの大切さ」を教えているのでしょ



このお話は、私たちの介護や医療の現場にも深く重なります。ご利用者様や患者様にとって、日々支えてくれる介護士や看護師、医師の存在は、ただサービスを提供する人ではなく、心を寄せてくれる「家族のような人」です。オンラインでは代えられない温もり、安心、そして信頼。目の前で笑顔を見せ、手を取り合うことこそが、人生の終末を生きる大きな力になっています。介護や医療の仕事は、まさにその「直接会って伝える」ことを日々行っている尊い営みです。時には大変で、見返りが少ないと感じる瞬間もあるかもしれませんが、その一度の笑顔や「ありがとう」という言葉は、私たちにも「大切な思い」を伝えてくれているのではないのでしょうか。便利さの影に隠れてしまいそうな、人と人が向き合う価値。その尊さを、私たちは仕事を通じて毎日体現しています。今日も一人ひとりの笑顔のために、世界でいちばん大切な思いを届けていきたいと思います。

Society 5.0
for
SDGs



2020年よりスタート致しましたSDGs(持続可能な開発目標)活動は、弊社の一ヶ月間のサービス量に応じて寄付活動や社会活動の原資に充てる予定になっております。

2025年7月の活動実績=11,675Pとなり、これまでの累計数は、1,099,145Pとなりましたのでご報告させていただきます。また、具体的な活動内容の詳細につきましては、引続きアスモグループ新聞にてお伝えさせていただきます。

備えあれば憂いなし！ 本当に必要な防災グッズとは？

災害は急にやってきます。いつやってくるのか、どのようにやってくるのか分からないのが災害です。一口に「災害」と言っても、地震、大雨、台風など多岐に渡ります。

いつ、どこで、どのような災害に遭遇してもいいように、日頃からの備えは充分にしておきたいですね。そこで、少しでも不安を減らすために、用意しておくべき防災グッズと紹介していきます。

【外出時に持ち歩き用】

外出中に何らかの災害に巻きこまれ、帰宅が一時的に困難になった場合。そのような状況に備えて、**ポーチのようなもの**にまとめた防災グッズを用意しておきたいものです。このポーチは、**普段使っている靴に入れられるサイズ**で中身が見えて**すぐ確認できるもの**、そして、**できるだけ軽く、防水性のあるもの**であると理想的です。

ポーチに入れておくべきものは

- ・持病の薬（頓服薬）・おくすり手帳
- ・眼鏡 ・飴玉やチョコレート
- ・携帯用トイレ ・現金（小銭と千円札を数枚）

この他、ポーチに余裕がある場合は

- ・替えのマスク ・ホイッスル
- ・絆創膏 ・小型のライト
- ・軽量小型の携帯ラジオ

これらを入れておくとなお安心です。

防災ポーチにはあれもこれもと色々入れたくなりますが、重くなると靴の中でかさばってしまいます。ポーチを持ち歩くのが面倒になってしまっは本末転倒なので、**外で数時間～1日程度過ごせるアイテム**を毎日持ち歩ける重さにまとめることが大切です。



災害時、倒壊した建物に閉じ込められた際など、自分の居場所を知らせたり、大声を出して喉を傷めないためにも、ホイッスルが役立ちます。

【避難時の持ち出し用】

続いて、在宅中災害に遭い、そこから避難所へ移動する際に持ち出すものを紹介します。その場合、まずは防災リュックを持って避難することが想定されるでしょう。中身の重さは目安として、**男性なら15キロ、女性なら10キロ**とされていますが、**個人差があります**。また、選ぶポイントとしては

- ・防水性の素材であること
- ・運びやすいかどうか
- ・反射板がついているか

持ち出し用の防災リュックは、**背負って動けるくらいの重さ**を意識しましょう！



を、意識してみましょう。

防災リュックの中身は、市販されているものによってまちまちですが、おおむね

- ・食料と水 ・携帯用トイレ ・携帯用ライト
- ・防寒具 ・携帯用ラジオ ・絆創膏や包帯



などが主流かと思われます。

ご自宅に防災リュックのある方は一度中身を確認し、この他に必要なものを加えておくといいでしょう。この他に必要と思われるものは

- ・手指消毒用のウェットティッシュ ・歯磨きシート ・現金などの貴重品
- ・予備の眼鏡 ・夏は日焼け止め、冬はカイロ

等があります。ご自分の生活に必要なものを準備しておきましょう。



相談員：小島の相談事例をご紹介します。

■事例：入居拒否のある認知症女性



- ・ご入居者：76歳（女性）
- ・お住まい：東京都練馬区 独り暮らし
- ・介護度：要介護1
- ・入居先：埼玉県戸田市
サービス付き高齢者向け住宅
(特定施設)

【経緯】ご本人様は認知症の女性で、1人で過ごすことを好み、訪問介護やデイサービスも利用せずに生活されていました。

「施設への入居なんてもってのほか」と拒否されていましたが、認知症の進行により空調管理ができなくなり、夏でもエアコンをつけず、熱中症になりかけたこともありまして。これを心配したご家族が、施設探しを始めることになりました。



今回の施設探しのポイントは、ご本人様の性格とご家族の希望を踏まえ「静かな時間」と「アットホーム」の2つを軸に進めました。9つの施設を提案し、見学に至ったのは以下の3つです。

- ①練馬区：ホテルのような造りで静かに過ごせる施設
 - ②練馬区：アットホームで毎日レクリエーションがある施設
 - ③埼玉県：小規模で静かだが、アットホームな施設
- 最終的にご家族が選ばれたのは、③のホームでした。

【感想】施設が決まっても、入居を拒むお気持ちのあるご本人様が本当に入れるのかは、ご家族にとって大きな不安でした。

そこで小島がご提案したのは、過去の相談事例を踏まえた方法です。

「改修工事があるので、一時的にきれいなホテルに泊まりましょう」と説得し、そのままスムーズに入居につなげたケースを参考にしました。

このアドバイスが功を奏し、ご本人様も納得のうででご入居されました。

一例ではありますが、入居の説得にお困りの方は、さまざまなケースを経験している専門家へご相談されることをおすすめします。

～シニアハウスコム～「Instagram」より
相談員：小島の投稿をご紹介します。

seniorhousecom



【8月2回目の高崎へ！🚗】

シニアハウスコム相談員の小島です。

昨日は施設見学希望の方と高崎駅で待ち合わせし、車で送迎いたしました。

在宅介護は限界、でも施設費用が心配…という方は多く、遠方の比較のお安い施設を選ばれるケースもあります。

今月は群馬県高崎の有料老人ホームへ2家族の見学同行がありました。

都内より費用が安いのは質ではなく、土地が安いから。安心して任せられる施設長に、ご家族はその場で入居を即決されました😊

家での介護に悩む旦那様へ施設長が「奥様を預けるのは悪いことではありません。介護という負担は施設に任せ、奥様に会いに来る時は介護ではなく、会いたい時に会いに来てください」と伝えると、旦那様は肩の力が抜けたご様子でした。

そんな温かい言葉をかけてくれる施設長のいる老人ホームに興味がある方は、ぜひお気軽にご相談ください♪

Instagram
はこちら 📌

@SENIORHOUSECOM



#有料老人ホーム紹介 #シニアハウスコム #見学 #送迎
#群馬県 #高崎市 #ぐんまちゃん #介護のプロ #福祉

デイサービス リハプライド ルフラン

❀ 「介護度が改善された方が続出！」

リハプライドルフランの花堂彩です。季節は秋に移り変わり、過ごしやすい日が増えてきました。当施設では、継続的なリハビリを通じて、利用者さまの身体機能や生活の質が大きく改善されています。今月は特に目覚ましい成果がありましたのでご紹介いたします。

❀ 利用者さまの回復事例

● 90歳・男性

30年間腕が上がらない状態でしたが、通所10か月で腕を上げられるようになりました。「週2回通って良かった」と、笑顔で語ってくださっています。



● 80歳・男性

嚥下障害のため水しか飲めなかったところから、8か月のリハビリで大きく改善。今ではワインやビールまで楽しめるようになり、生活にハリが戻りました。



● 最近介護度が改善された方々



- 要介護5 → 要介護1 に改善された方 1名
- 要介護2 → 要支援1 に改善された方 1名
- 要支援 → 介護保険非該当（卒業）となった方 1名



いずれの方も「もう無理かもしれない」と思っていたことができるようになり、ご本人もご家族も大変喜ばれています。

💡 スタッフより

「介護度が改善されたのは、利用者さまがあきらめずに努力を続けられた成果です。これからも“自分の足で歩きたい”という気持ちを大切に、スタッフ一同でサポートしてまいります。

🌟 最後に

リハプライドルフランは、皆さまの「できること」を増やし、笑顔あふれる毎日をお届けできるよう、今後も全力で取り組んでまいります。



● 施設内の季節の飾り

雰囲気作り担当：柳瀬 貴代江



リハビリの必要な方がおられましたら、ぜひ一度、見学・体験へお越しください



リハプライド ルフラン 〒161-0031新宿区西落合4-21-9 ☎03-5906-5761

明日も笑顔



株式会社アスモ

たんぽぽ介護

訪問介護

株式会社アスモリンク

シニアハウスコム

有料老人ホーム無料紹介・相談

〒165-0026 東京都中野区新井1-26-4-2F

TEL 03-5318-4007 FAX 03-5318-4008